

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-122644

(43)Date of publication of application : 15.05.1989

(51)Int.Cl.

B22D 11/10

B22D 41/08

(21)Application number : 62-279132

(71)Applicant : TOSHIBA CERAMICS CO LTD
SUMITOMO METAL IND LTD

(22)Date of filing : 06.11.1987

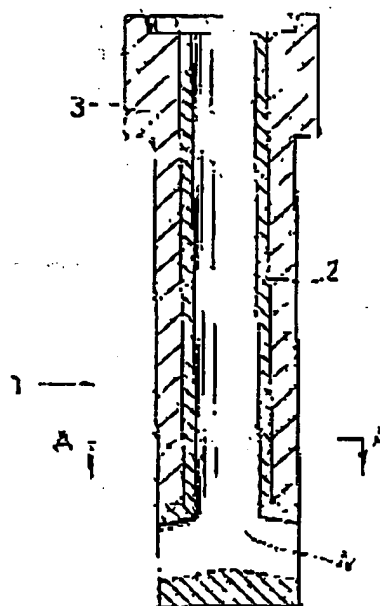
(72)Inventor : KAWAI KAZUhide
MORI HIROYUKI
OOYA SATOSHI
SUGITA KIYONARI
KAWASAKI MORIO
KASAI NOBUFUMI

(54) NOZZLE FOR CASTING

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent clogging of a nozzle caused by precipitation and deposit of Al_2O_3 in molten steel by constituting the inner wall part of the nozzle for casting the molten steel with the specific composition of CaO-SiO₂ series refractory material.

CONSTITUTION: At the time of casting the molten aluminum killed steel by using the nozzle 1 for casting, the nozzle body 3 is made of Al_2O_3 -C refractory material having high refractoriness, and the inner wall part 2 in the nozzle is constituted of the refractory material having CaO and SiO₂ as main component and 0.18Wt.86 CaO/SiO₂ ratio and also containing Al_2O_3 of 10wt.% of the total contents of CaO and SiO₂. In this case, even if Si is substituted for a part of SiO₂, Si is oxidized to SiO₂ and has the same effect as SiO₂. The Al_2O_3 precipitated from the molten steel is reacted with the above CaO-SiO₂ refractory material to form the compound having low melting point, and as it is flowed out from the nozzle, it is prevented that nozzle can not come to use caused by deposit and clogging Al_2O_3 in the inner wall part of the nozzle.



25/28

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-122644

⑬ Int. Cl.

B 22 D 11/10
41/08

識別記号

330

庁内整理番号

S-6411-4E
B-6411-4E

⑭ 公開 平成1年(1989)5月15日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 鑄造用ノズル

⑯ 特 願 昭62-279132

⑰ 出 願 昭62(1987)11月6日

⑱ 発 明 者 河 合 和 秀 愛知県刈谷市小垣江町南藤1番地 東芝セラミックス株式
会社刈谷製造所内

⑲ 発 明 者 森 弘 之 愛知県刈谷市小垣江町南藤1番地 東芝セラミックス株式
会社刈谷製造所内

⑳ 発 明 者 大 屋 鎮 登 志 愛知県刈谷市小垣江町南藤1番地 東芝セラミックス株式
会社刈谷製造所内

㉑ 出 願 人 東芝セラミックス株式 東京都新宿区西新宿1-26-2
会社

㉒ 出 願 人 住友金属工業株式会社 大阪府大阪市東区北浜5丁目15番地

㉓ 代 理 人 弁理士 田 辺 徹
最終頁に続く

明 細 書

1. 発明の名称

鑄造用ノズル

2. 特許請求の範囲

1. ノズル内壁部が少くともCaOとSiO₂を含み、しかもCaOとSiO₂の比が0.18~1.86であり、さらにAl₂O₃の量がCaOとSiO₂の総量の10重量%以下であることを特徴とする鑄造用ノズル。

2. SiO₂の一部の代りにSiを用いることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の鑄造用ノズル。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、鑄造用ノズルに関する。

従来の技術

Alを含む溶鋼の鑄造においては、鑄造用

ノズルの内壁面にAl₂O₃が付着してノズル閉塞が起りやすい。

ノズルの閉塞防止のために、ノズル内に不活性ガスを吹込む方法が一般に採用されている。

また、特開昭57-71860号公報は、CaOを含む黒鉛質鑄造用ノズルを開示している。

発明が解決しようとする問題点

不活性ガスの吹込みでは十分な閉塞防止効果が得られない。また、鑄造した鋼製品にピンホールが発生し易い等の問題がある。

特開昭57-71860号公報が開示しているCaOを含む黒鉛質鑄造用ノズルの場合、CaOとAl₂O₃の反応により必ずしも低融点化合物が生成するとは限らず、高融点化合物を生成して逆に閉塞を促進する場合もあり、安定した効果が望めない。

発明の目的

前述した問題点に鑑みて、ノズル孔の閉塞が起りにくい铸造用ノズルを提供することが本発明の目的である。

発明の要旨

前述の目的を達成するために、この発明は特許請求の範囲第1項および第2項に記載の铸造用ノズルを要旨としている。

問題点を解決するための手段

铸造用ノズルにおいて、少なくともノズル内壁部がCaOとSiO₂を含み、しかもCaOとSiO₂の比、つまりCaO/SiO₂が0.18~1.86であり、さらにAl₂O₃の量がCaOとSiO₂の総量の10重量%以下になるように铸造用ノズルを構成する。またSiO₂の一部をSiに替えても、ノズル内壁面でSiが酸化されてSiO₂になるので同様の効果が得られる。

- 3 -

以下、第1図及び第1表を参照して本発明の実施例を説明する。

第1図は本発明の铸造用ノズル1を示している。ノズル本体3は従来の耐火物材料(Al₂O₃-C質)から成り、ノズル内壁部2はCaO及びSiO₂を所定の比率で含んでいる。実施例1~9のノズル内壁部2の化学組成及びCaOとSiO₂の比を表1に示す。表1には、比較のための比較例1~3についても、その化学組成及びCaOとSiO₂との比を示した。

これらの铸造用ノズルを同一のタンデッシュに取付けて、同一条件でアルミキルド鋼の連続铸造を行った。使用後铸造用ノズルのA-A断面(第1図)でノズル孔4の狭縮率を調べた。その結果を表1の最下段に示した。本発明の実施例1~9はいずれも、比較品1~3と比べ、狭縮率が1/3以下と小さく、

- 5 -

CaOとSiO₂の比が上記の範囲外であると、低融点の液相が有効に生成せず、Al₂O₃とCaOの固相反応により高融点のカルシウム・アルミネートが生成し、これが溶鋼中のAl₂O₃を付着させる核的作用をするため、Al₂O₃の付着堆積が促進されてしまう。またAl₂O₃がCaOとSiO₂の総量の10wt%を超すとAl₂O₃とCaO及びSiO₂の反応により、ノズル自体が低融点化し溶損し易くなるので好ましくない。

作 用

铸造作業において、本発明の铸造用ノズルの内孔壁面に付着したAl₂O₃は、CaO及びSiO₂と化学反応して融点が1500℃以下の液相となる。この液相は溶鋼と共に流れ去るので、ノズル表面にAl₂O₃が付着・堆積しない。

実施例

- 4 -

閉塞防止効果に優れていることが認められる。

また、SiO₂の一部をSiに替えてもよい。この場合に、ノズル内壁面でSiが酸化されてSiO₂になるので同様の効果が得られる。

本発明は、前述の実施例に限定されない。例えば、ノズル内壁部を構成するSiO₂とCaO以外の成分は、所定の条件(Al₂O₃がSiO₂とCaOの総量の10重量%以下)を満足すれば、実施例1~9で用いた以外の铸造ノズル用の材料を用いることができる。

発明の効果

ノズル内壁面に含有するCaOとSiO₂の比を0.18~1.86に規定することにより、ノズル内壁にAl₂O₃が付着しても、CaO及びSiO₂と反応して溶鋼温度よりも低融点の化合物に変化し、溶鋼中に溶失するので、広い条件範囲にわたり安定したノズ

- 6 -

ル孔の閉塞防止効果を持つ鋳造用ノズルが得られる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の鋳造用ノズルの実施例を示す断面図である。

1 …… 鋳造用ノズル

2 …… ノズル内壁部

3 …… ノズル本体

4 …… ノズル孔

代 理 人 弁 理 士 田 辺 徹

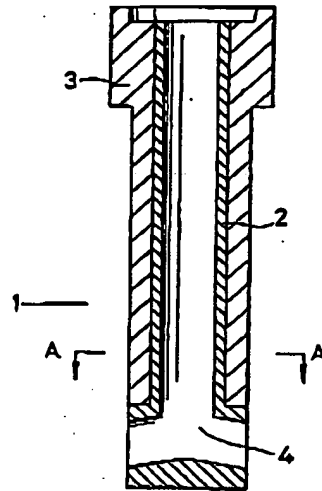


- 7 -

表 7

		実 施 例										比 較 例		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	
化 学 成 分 (wt%)	Zr O ₂	68	67.5	66.5	40	63.5	60	55	50	27	40	17	0	
	C	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	30	
	Si O ₂	10	10	10	30	10	10	10	10	25	10	10	15	
	Ca O	2.0	2.5	3.5	10	6.5	10	15	18	25	30	53	0	
	Al ₂ O ₃	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	55	
Ca O/Si O ₂		0.20	0.25	0.35	0.33	0.65	1.0	1.5	1.8	1.0	3.0	5.3	0	
ノズル孔堵塞率 (%)		15	10	8	6	6	6	12	14	6	57	48	52	

第 1 図



第1頁の続き

⑦発明者 杉 田

聖 也

愛知県刈谷市小垣江町南藤1番地 東芝セラミックス株式
会社刈谷製造所内

⑦発明者 川 崎

守 夫

兵庫県尼崎市西長洲本通1-3 住友金属工業株式会社総
合技術研究所内

⑦発明者 笠 井

宣 文

兵庫県尼崎市西長洲本通1-3 住友金属工業株式会社総
合技術研究所内